

陶小だより

綾川町立陶小学校
令和3年5月号

成長のエネルギーがあふれています。

校内の木々の新緑が鮮やかになってきています。つつじが大きな花を咲かせています。その横を、元気を通り過ぎていく子どもたち。木々に負けない成長のエネルギーと、つつじの花に勝る輝きを感じます。

新しい体制となりましたので、4月中に保護者の方々に子どもたちや先生方の取組の様子を見ていただきたかったのですが、感染拡大の状況から、その機会を設けることができておりません。

以下に、少しでも子どもたちのがんばっている様子をお伝えできればと思います。



1年生をむかえる会

児童会が企画して、ZOOM 放送で、陶小〇×クイズをしたり、陶小学校のよいところをリズムにのって、テンポよく紹介してくれたりしました。〇×クイズでは、真剣な表情で考えたり、答えに一喜一憂したりと、全校生で1年生を歓迎する気持ちを高めるとともに、陶小学校のよさにあらためて気付く時間となりました。

陶小〇×クイズの問題を紹介します。クイズの答えや陶小学校のよいところは、お子様に聞いてみてください。



Q：学校にある部屋は40部屋ある。〇か×か。

Q：あそぼうランドの向こう側にコンクリートの場所があります。コンクリートの道をこえて遊んでもよい。〇か×か。

Q：校長先生のお話の中の、心を強くするとは、固い心で自分の考えを押し通すことである。〇か×か。

Q：去年のなわとび大会での8の字大なわとびの最高記録は305回である。〇か×か。

避難訓練

授業中に地震が発生したことを想定し、各教室から運動場へ避難する際の経路を確認しました。どの学年も、ヘルメットを着用し、素早い行動ができました。全校生に、実際に起きた時に一番大切にしてもらいたいこととして、まず「落ち着くこと」をお話しました。

災害はいつ起きるか分かりません。慌てないで、状況をよく見極め、次の行動を考えることが必要になってきます。「自分の命は自分で守る」ことについて、ご家庭でも、登下校中、外で遊んでいる時、家で起きた時など、どのように行動すればよいか、話し合っておくとよいと思います。

校外学習

当日は少し風が強く、肌寒く感じる日でしたが、どの学年も元気に出発し、多くの発見をして帰ってきました。地域の方が、見学場所に行くまでの道の草刈りをしてくださっていたり、お手洗いを貸してくださいました。また、出会った方が温かい声をかけてくださいました。地域の自然や歴史、人々の温かさにたっぷり触れた子どもたち。「疲れたあ。」と言いながらも、充実した表情をしていました。



広報委員会が陶小のじまんの場所を紹介します♪



遊ぼうランドは、緑がいっぱいで、いろんな学年の人がなかよく遊んでいます。春には桜の木が満開になり、とてもきれいです。

正門から校内に入るときれいな花がたくさん咲いています。今はパンジーが満開です。



いじめ防止対策に取り組んでいます

本校では、いじめの定義を再確認するとともに、「いじめの芽」や「いじめの兆候」も「いじめ」と認知し、いじめ防止対策に取り組んでいます。具体的な取り組みとして、年3回実施の「なかよしアンケート」と、月1回、友達とのかかわりに関するアンケートを実施しています。このような取り組みと合わせて、教職員が児童一人一人としっかり関わっていくことで、積極的にいじめを認知し、早期対応が行えるようにしていきます。

また、多くの子ども達が、「いじめ」についてだれにも相談できずにいることがあります。言葉では伝えられなくても、「いじめ」があれば毎日の生活の中に、これまでと違った行動や態度などが現れます。ご家庭でも、次のようなサインが見られ、「あれ？」と思ったら学校にご相談ください。学校と家庭が連携して、いじめ防止対策に取り組んでいきたいと考えています。

- 朝起きてこない。布団からなかなかでてこない。
- 朝になると体の具合が悪いと言い、学校を休みたがる。
- 食欲がなくなったり、だまって食べたりするようになる。
- 学校で使うものや持ち物がなくなったり、壊れたりしている。
- 学校や友達の話が減り、表情も暗く、家族との会話も少なくなった。

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの先生が来校されます

相談を希望される方は、事前に担任あるいは教頭まで連絡ください。【876-1182】

近藤由紀先生（スクールカウンセラー）の来校日

5月20日（木）13:30～17:30

5月27日（木）13:30～17:30

豊澤恵美先生（スクールソーシャルワーカー）の来校日

毎週火曜日 9:30～16:30

